

## かぐや姫は宇宙人だったのか!?

# 宇宙と芸術展

### —かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ—

～天才ダ・ヴィンチが描いた天文学手稿を日本初公開！

チームラボによるインタラクティブな新作インスタレーションも展示～

森美術館は、2016年7月30日(土)から2017年1月9日(月・祝)まで、「宇宙と芸術展」を開催します。

宇宙は古来、人間にとって永遠の関心事であり、また信仰と研究の対象として、世界各地の芸術の中で表現され、多くの物語を生み出してきました。本展では、隕石や化石、ダ・ヴィンチやガリレオ・ガリレイ等の歴史的な天文学資料、曼荼羅や日本最古のSF小説ともいえる「竹取物語」、そして現代アーティストによるインスタレーションや、宇宙開発の最前線に至るまで、古今東西ジャンルを超えた多様な出展物約150点を一挙公開。「人は宇宙をどう見てきたか?」、「宇宙という時空間」、「新しい生命観—宇宙人はいるのか?」、「宇宙旅行と人間の未来」の4つのセクションで構成し、未来に向かっての新たな宇宙観、人間観を提示することを試みます。2016年夏、六本木を宇宙の入り口として「私たちはどこから来てどこへ向かうのか」を探る旅となる本展にご期待ください。



空山基 《セクシーロボット》 2016年  
FRP、鉄、金・銀メッキ調塗料、LEDネオンライト  
182 x 60 x 60 cm  
撮影：Tanaka Shigeru Courtesy：NANZUKA



「竹取物語絵巻」(第三巻)  
江戸時代前期 卷子  
33 x 約1440 cm  
所蔵：國學院大學図書館、東京

プレスリリース

広報お問い合わせ 「宇宙と芸術展」広報事務局 担当：森、浜木

Tel: 03-5572-7351 Fax: 03-3584-0727 E-mail: UNIVERSE\_ART@vectorinc.co.jp

## ■ 開催概要

**展覧会名:** 宇宙と芸術展

**主催:** 森美術館、NHKプロモーション、読売新聞社

**企画:** 南條史生(森美術館館長)、椿 玲子(森美術館アソシエイト・キュレーター)

**会期:** 2016年7月30日(土) - 2017年1月9日(月・祝)

**会場:** 森美術館 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53F

**開館時間:** 10:00 - 22:00 | 火10:00 - 17:00 \*いずれも入館時間は閉館時間の30分前まで \*会期中無休 **入館料:** 未定

**一般のお問い合わせ:** Tel: 03-5777-8600(ハローダイヤル) **森美術館ウェブサイト:** www.mori.art.museum

## ■ 展覧会の構成

### [SECTION 1] 人は宇宙をどう見てきたか?

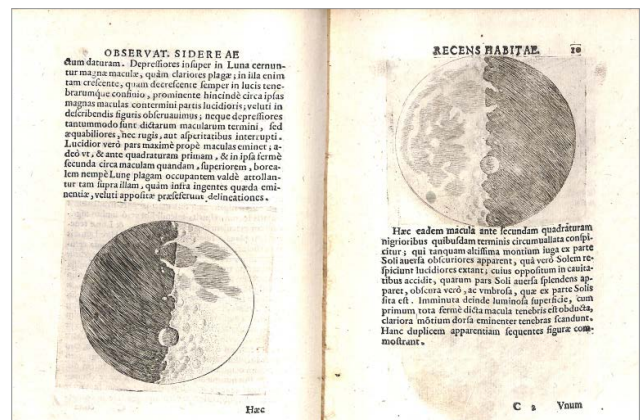
人間が宇宙をどのように見てきたかという歴史的な宇宙観の一端を、東西の神話・宗教美術作品や貴重な天文学資料等を通して紹介します。

#### 出展作家

北脇昇、前田征紀、向山喜章 ほか

#### 出展物

レオナルド・ダ・ヴィンチの天文学に関する手稿  
ガリレオ・ガリレイ、プトレマイオスの天文学古書  
曼荼羅図(星曼荼羅、両界曼荼羅、十二天像等)  
竹取物語絵巻  
天球図、天球儀、天体望遠鏡、曆等、ルネサンスや江戸時代の貴重な天文学資料  
流星刀 など



ガリレオ・ガリレイ「星界の報告」 1610年 書籍 出版:トマス・バリオーニ  
所蔵:金沢工業大学ライブラリーセンター

### [SECTION 2] 宇宙という時空間

星さえも吸い込むブラックホール、今眺めている星の光が何億光年も彼方から放たれている事実、11次元あるといわれる宇宙空間の不思議、さらに私たちの時空認識を刷新した天体観測技術の驚くべき進歩等が、現代美術の作品等によって表現されます。

#### 出展作家

ヴィヤ・セルミンズ  
ビョーン・ダーレム  
アンドレアス・グルスキー  
ジア・アイリ(贾蔼力)  
トレヴァー・バグレン  
セミコンダクター  
コンラッド・ショウクロス  
ヴォルフガング・ティルマンズ ほか



ビョーン・ダーレム  
《ブラックホール(M-領域)》  
2008年 木、スケール、蛍光灯、電球、着色剤 450×500×900cm  
撮影:ブレイズ・アディロン  
Courtesy:サーチコレクション、ロンドン

**プレスリリース** 広報お問い合わせ 「宇宙と芸術展」広報事務局 担当:森、浜木  
Tel: 03-5572-7351 Fax: 03-3584-0727 E-mail: UNIVERSE\_ART@vectorinc.co.jp

## [SECTION 3] 新しい生命観－宇宙人はいるのか？

隕石・化石等の人間史を超えた地球史を起点として、人間が想像してきた宇宙人像、更には最先端の遺伝子工学やA.I. 技術等について言及する作品を紹介します。

### 出展作家

ヴァンサン・フルニエ  
ローラン・グラッソ  
ピエール・ユイグ  
パトリシア・ピッチニーニ  
空山 基  
杉本博司 ほか

### 出展物

「うつろ舟の蛮女」に関する資料  
荒俣 宏SF雑誌コレクション  
ダーウィンの『種の起源』 など



万寿堂  
『小笠原越中守知行所着舟』(『漂流記集』より)  
江戸時代後期(19世紀) 書籍  
約26 x 77 cm  
所蔵：西尾市岩瀬文庫、愛知

## [SECTION 4] 宇宙旅行と人間の未来

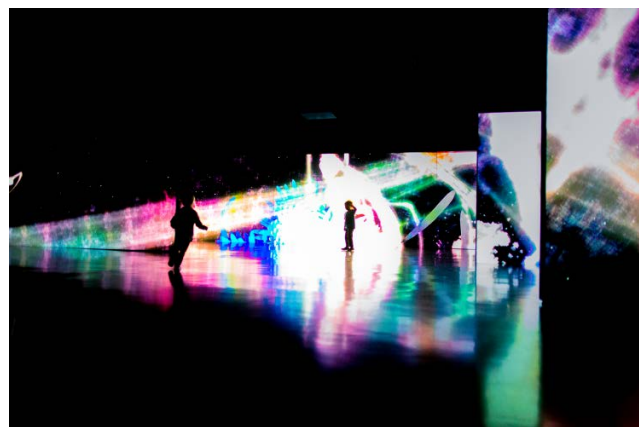
宇宙旅行時代到来間近の今、これから人間と宇宙がどのような関係を持ち、人間の生き方はどう変わっていくのかという問題について、アーティストのビジョンを紹介し、未来の人間の生き方について描きます。また、米ソの宇宙開発の歴史やJAXAの芸術プロジェクト、マーズ・アイズ・ハウス等、現代の宇宙開発の最前線を提示します。

### 出展作家

ジュール・ド・バランクール  
マリア・グルズデヴァ  
野村 仁  
逢坂卓郎  
チームラボ  
トム・サックス ほか

### 出展物

コンスタンチン・ツイオルコフスキーの手稿(複製)  
ガガーリン、テレシュコワの写真(複製) など



チームラボ  
《追われるカラス、追うカラスも追われるカラス、そして分割された視点—Light in Dark》  
2014年  
展示風景：「チームラボ踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地」  
日本科学未来館、2014年 \*参考作品

プレス画像の申請については、下記へお問い合わせください。

「宇宙と芸術展」広報事務局 Tel: 03-5572-7351 Fax: 03-3584-0727 E-mail: UNIVERSE\_ART@vectorinc.co.jp

プレスリリース 広報お問い合わせ 「宇宙と芸術展」広報事務局 担当：森、浜木  
Tel: 03-5572-7351 Fax: 03-3584-0727 E-mail: UNIVERSE\_ART@vectorinc.co.jp